

令和6年度 第7回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 相談支援部会/定例会 議事録 (初任者研修 インターバル実習)	
日 時	令和6年12月20日(金) 15:30~17:30 (インターバル実習は17時まで)
開催場所	保土ヶ谷区役所 地下会議室
出席者	【出席】光の丘相談室、てらん広場、ハーモニー、夢21相談支援事業所、地域生活支援センター、ゆめ計画相談、区高齢・障害支援課、基幹相談、生活支援センター、オレンジよこはま、発達障害者支援センター、わおん、タキオンネクスト、toiro 西谷、サムズアップ、恵和相談室、横浜 SSJ、 【インターバル実習生】たちほどがや、常盤台病院、てらん広場第2、生活支援センター、さんぼ氏、みらい NO1、基幹相談支援センター、はる相談支援、バイオレット、西部療育センター、エターナル、ショウエイ訪問看護 合計 13名
欠席者	光風会相談センター、いわまワークス、エススタイルほどがや、かけはし、延命法律事務所、西部就労支援センター、若葉台特別支援学校、相談支援室あおば、西部地域療育センター、みらいライフ、横浜市障害者更生相談所、いんどり西横浜、十愛病院、よこはま包摂相談支援センター、幸陽園相談室、計画相談室ウィング
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ 非公開
議 題	初任者研修 インターバル実習 (テーマ:地域の社会資源について)
が	<p>1) 開会あいさつ (15時30分~15時35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長 あいさつ (恵和 相原氏) 初任研インターバル実習を兼ねています。 ・ 本日の内容紹介 (インターバル実習、地域の社会資源について学ぶ) ・ 配布資料の確認 ・ 本日タイムスケジュール 説明 (17時までインターバル実習、その後、交流会) <p>2) 初任者研修 インターバル実習 自己紹介 (15時35分~15時45分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会進行 相原氏 ・ インターバル実習 受講生のみなさん13名より、一言いただく。 <p>3) 地域の社会資源について ミニ講義 (15時45分~16時15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会進行 相原氏 <p>①. 保土ヶ谷区 自立支援協議会について: 基幹相談支援センター 遠藤氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体像と運営体制 <ul style="list-style-type: none"> ○ 年1回の「全体会」と、定期的を開催する「担当者会議」「各部会」で構成。 ○ 事務局は区役所や基幹相談支援センターのみならず、歴史ある法人・事業所が積極的に関わっており、幅広い視点での運営が可能。 2. 理念・スローガン <ul style="list-style-type: none"> ○ 理念: 「障害のある方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できる社会の実現」を目指す。 ○ スローガン: 「知る・伝える・つながる・広げる 保土ヶ谷区」。

3. 昨年度の目標と成果

- 目標 1：障害福祉の充実 → 勉強会やネットワーク会議を活発化し、相談件数や連携事例が増加。
- 目標 2：関係機関との連携強化 → 医療・福祉・教育など多職種協働が促進。
- 目標 3：実効性ある地域生活支援拠点の整備 → 当事者・家族も巻き込みながら、具体案を検討。

4. 地域生活支援拠点 整備計画

- 全体会・担当者会議・各部会での議論を反映し、段階的に計画を策定中。
- グループワークを通じて課題を抽出し、全体像を共有。

②相談支援部会について：恵和相談室 相原氏

1. 部会概要・運営体制

- 部長：相原 氏（恵和相談室所属）
- 開催：保土ヶ谷区役所地下会議室で、原則月 1 回または隔月。
- 主な活動：事例検討・勉強会・情報共有・ネットワーク構築・意見交換・交流会等

2. 主な取り組み

- 事例検討：「キティメソッド（保土ヶ谷バージョン）」を用い、多角的に地域課題を検討。
- 勉強会：意思決定支援、虐待防止、成年後見制度などをテーマに開催し、相談支援の質を向上。
- 交流会：部会終了後 30 分程度のフリートーク時間を設け、悩みや情報を共有。

3. 課題と今後の方針

- 課題：計画相談員が少人数や“一人職場”の場合、部会参加が困難になりがち。
- 共同体制の模索：小規模事業所同士で連携を図り、地域体制強化共同支援加算の取得を推進していく。また地域資源の共有方法を改善して、より効果的なネットワーク系市営を目指す。深める仕組みづくりが必要。
- 勉強会テーマの募集：参加者の要望に応じて柔軟にテーマ設定を行い、専門性向上を図る。

③基幹相談支援センターの役割について：基幹相談 田村氏

1. 総合的・専門的な相談機関として

- 区内の相談支援体制強化に向け、計画相談事業所の広報・情報提供も実施。
- 未利用者（サービス利用がない方）への働きかけや出前相談などの取り組みも実施。

2. 地域移行・権利擁護支援

- 知的障害入所施設や精神科病院から地域へ移行を希望する方への支援をコーディネートする。
- 成年後見制度の申立てや虐待防止研修などを自立支援協議会各部会と連携して実施

3. 協力依頼と注意事項

- 「何でも屋」ではなく、まずは相談の入口として気軽に活用してほしい。
- 計画相談だけで手が回らない、または困難事例がある場合には、早めの連携と情報共有を、そして相談窓口から専門機関や地域資源への連携を図っていく。

④主任相談支援専門員の役割について：わおん 田中氏

1. 横浜市における主任相談支援専門員の位置づけ
 - 相談支援専門員の人材育成をリードし、地域の相談支援体制を強化する。
 - 自立支援協議会や各部会の部会長・事務局を担い、地域づくりを推進。
2. 現状と課題
 - 保土ケ谷区には主任相談支援専門員が現在 5 名配置されている。
 - 市内全体では地域間で偏在があり、均等化が課題。
3. 今後の取り組み
 - 2025 年 2 月に「横浜市 主任相談支援専門員連絡会」を立ち上げ予定。
 - インターバル研修の受け入れ体制整備に向け、主任相談支援専門員の名簿共有を進める。

⑤健康福祉局の役割について

- ・市の施策や制度改正情報は別途配付資料を参照。
- ・問い合わせは担当部署へ連絡のこと。

⑥社会福祉協議会区の役割について：保土ケ谷区社会福祉協議会 工藤氏

- ・本日急病のため欠席。今月中に事前アンケート回答および資料をメール送信予定。
- ・アンケート回答をもとに、来年度の事業計画に反映予定。

4) グループワーク、2 グループ共有 (16 時 15 分～17 時 00 分)

司会進行：相原氏

テーマ 「実習生の素朴な疑問に先輩相談員がお答えします😊」

- 1 グループ：
 - 議論内容：記録方法の工夫、モニタリングの実施手順を具体化。
 - 課題：
 - 計画相談の記録業務が煩雑で、現場業務が圧迫されている。
 - 記録方法が統一されていないため、共有の効率が悪い。
 - 解決案：
 - 記録作業のテンプレート化を進め、必要最低限の項目を標準化。
 - モニタリング頻度をケースごとに再検討し、重要度に応じた実施を提案
 - 共有意見：
 - 他自治体での事例を収集し、効果的な記録方法の導入を検討。
- 5 グループ：
 - 議論内容：地域資源の探索とその効果的な活用方法。
 - 課題：
 - 地域資源の情報が分散しており、迅速な支援につなげにくい。
 - 利用者が支援サービスを理解・選択する際の支援が不足している。
 - 解決案：
 - 資源マップの作成と定期的な更新を行い、関係機関間で共有。
 - 利用者向けガイドブックを作成し、選択を支援。
 - 共有意見：
 - 関係機関の定期会合で新たな資源情報を共有する仕組みを導入。

- 3 グループ：
 - 議論内容：ヘルパー事業所の条件把握や移動支援の改善策。
 - 課題：
 - ヘルパー事業所の受け入れ条件や対応範囲が曖昧で、調整が難航するケースがある。
 - 移動支援に関する利用者と事業所間の調整不足。
 - 解決案：
 - 地域で共通の業務支援ツール（例：アプリケーション）を導入し、調整業務を効率化。
 - ヘルパー事業所との事前調整を強化し、条件や対応可能範囲を明確化
 - 共有意見：
 - 地域の地図やツールを活用して最適な移動支援ルートを設計。
 - 調整業務を行う担当者間の情報交換を強化。
- 共通テーマ：
 - 重度障害者の意思決定支援が課題。利用者本人の意思を尊重しつつ、具体的な支援内容や選択肢を提示する方法をどうしたらよいか？
 - 解決案：
 - 意思決定支援に特化した研修を実施し、相談員のスキルを向上。
 - 支援者間でのケースカンファレンスを通じて、支援方法の事例を共有。

第二部 交流会 17時00分～17時25分

交流会 *今回はテーマ設けず、実務についての疑問・質問の共有、フリートーク（実習生も参加可）
*今回のインターバル実習の振り返りも OK とした。

相談支援部会 情報共有 (17時25分～17時40分)

*【計画相談の実施状況】R6.10月末実績（11月主任連絡会）※R6年9月との比較
・実績面（量）は横ばいで大きな変化はなく、現状維持の状態が続いている。

	対象者数 (障福サービス+ 地域相談利用者)	計画相 談 決定数	計画相談未決定者				実施率 (計画相談 +介護保険 利用者)	事業所数
			介護保 険利用 者 (ケア プラン)	セルフプ ラン 希望者	事業者が 見つから ない	その 他		
保土ヶ 谷	1,740 (+10)	893 (-1)	84 (-1)	301 (+11)	452 (+1)	10	56.1% (-0.5)	22 (±0)
18区 計	28,050 (+225)	15,901 (+60)	1,473 (+5)	5,213 (+221)	5,313 (-65)	150	61.9% (-0.3)	286 (+2)

*区サポートネット（成人後見関連会議）の構成員見直しについて

- ・年4回開催される年明け関係の会議「サポートネット」において、構成員の再検討が行われる予定。
- ・これまで基幹相談支援センターが参加していましたが、今後はテーマに応じて計画相談支援事業所も考慮可能となること。
- ・具体的な参加要請・募集方法は後日連絡予定。

*計画相談 事業所訪問

今年度、各事業所1度ずつ、相談支援部会事務局メンバーや区内主任相談支援専門員で、地域の体制づくりも兼ねて、現場からの忌憚のないご意見を頂く機会として訪問しています

※R7年1月～訪問日調整：わおん、生活支援センター、みらいライフ、あおば

* 障害者権利条約批准関連の企画（1月14日から1週間）

- ・保土ヶ谷区では、障害者権利条約批准に合わせて、黄色をテーマカラーとしたキャンペーンを実施。
- ・各事業所は玄関に黄色の花などを飾る、区が用意したオリジナルポスター（ダウンロード可能）に利用者や関係者がメッセージを書き込むなど、自由形式で参加できる。
- ・作成したポスターや装飾の様子は写真撮影の上、事務局宛てメール送信が可能。送付された写真は区HPや新設したInstagramでPR予定。
- ・多くの事業所が参加することで、盛り上げたいと考えている。

* 入所施設利用申込方法の変更について

- ・令和7年10月以降の入所調整を承知し、新たな申込方法に移行する予定。
- ・令和7年4月より新しい方式での申し込み受付が開始される。
- ・詳細は1月中旬に横浜市から計画相談支援事業者へメールで通知する予定。担当者は今後の連絡を注視し、利用者や関係事業所への周知を準備する必要がある。

* 事後アンケートへの協力依頼

- ・当日配布のアンケート（QRコード記載）への回答を27日（金）。
- ・アンケート回答をわかりやすく、ミニ講義への質問や意見をお聞きすることで、後日メールにて回答やわかりやすい説明を提供する予定。

* 参加者からのPR事項・周知情報

「オレンジよこはま相談支援事業所」より、2024年5月以降に新規相談支援専門員が入り、新規利用者対応可能との紹介がありました。

◆ 次回の相談支援部会

日時: 令和7年1月24日（金） 15:30～17:30

時間・会場 お間違え無く!

会場: 保土ヶ谷区役所 地下会議室

内容: 事例検討Ⅲ（今年度の事例検討会 最終回になります）

・事例提供→メールで呼びかけております。奮って手上げをお願いします